文　化　財

1　令和２年度　主要な事業

文化財は，郷土の先人たちが営々として築き上げ，また守り育ててきた貴重な文化遺産である。私たちは身近な郷土の文化財をとおして，先人たちの優れた生きざまを学びとり，あるいは環境の巧みな利用法に接して，私たちの生活文化をより豊かなものにすることができる。その保護・保存と活用は，先人への敬愛の念と自然への畏敬の態度を養う原点でもあり，そして子孫への継承は，私たちの負うべき責務の一つでもある。

本市では，文化財保護法の主旨に則り，文化財の保護・保存と活用を図るために調査・保存・指定・管理・公開等の事業を推進しながら「文化財を活かした」都市づくりを展開している。

⑴　埋蔵文化財発掘調査

学校施設整備事業，宅地造成事業など公共・民間の各種開発等に伴う事前審査や発掘調査を実施。遺跡の確認，記録保存，現状保存等の措置を講じている。

埋蔵文化財にかかる令和２年度の調査計画は次の表のとおりである。

	遺跡名・次数	時　代
1	大友氏館跡第42次	戦国
2	大友氏館跡第43次	戦国
3	城原・里遺跡第23次	古墳・奈良
4	横尾遺跡第157-3次	弥生
5	米竹遺跡第15次	弥生
6	中世大友府内町跡第144-2次	戦国
7	中世大友府内町跡第146次	戦国
8	細遺跡第３次	中世

⑵　文化財保存整備事業

①　史跡大友氏遺跡保存整備事業

事業者　大分市

史跡大友氏遺跡整備基本計画（第１期）令和元年度改訂版に基づき，中期整備として中心建物「大おもて」の立体復元をはじめとする大友氏館跡の整備と歴史文化観光拠点施設の整備を令和12年度の完成を目指す。

令和２年度の予定

・大友氏館跡建造物等復元検討委員会を立ち上げ，具体的な整備手法の検討を行う。

・大友氏館跡庭園北側の修景工事実施。

②　国指定史跡「大分元町石仏」保存管理事業

事業者　　大分市

大分元町石仏の環境調査，及び劣化対策である和紙による脱塩処理を継続し，石仏覆屋改修後の環境モニタリングを行う。研究機関と連携し，効果的な管理手法を検討する。

③　重要文化財柞原八幡宮本殿ほか４棟保存修理事業

事業者　柞原八幡宮

柞原八幡宮本殿を含む５棟の解体及び半解体，部分修理を行う。

令和２年度の予定

本殿，宝蔵の解体工事

④　府内城宗門櫓修復公開活用事業

事業者　　大分市

傷みが進行している宗門櫓を半解体修理し，令和２年７月に完成した。

令和２年度の予定

木製建具製作，中塗り及び漆喰壁仕上げ

電気設備工事

⑤　県指定史跡「曲石仏付双塔（五輪塔）・磨崖連碑」保存調査事業

事業者　大分市

曲石仏を安置する石窟に崩落の危険があることから，今後の保存整備に必要な調査を実施する。

⑥　府内城跡基礎調査事業

事業者　大分市

府内城跡の史跡整備や保全に資する基礎情報を得るため，「府内藩記録」などの文献調査，石垣の現状を記録する石垣調査，本丸及び内々堀等の遺跡の発掘調査を進める。また，令和８年度には府内城跡の史跡整備基本計画を策定する。

⑶　各種委員会の開催

①　大分市文化財保護審議会

大分市文化財保護審議会条例により設置。文化財の指定，保存及び活用に関する重要事項について調査，審議することを目的とする。

令和２年11月頃　開催予定

②　高崎山管理委員会

国指定天然記念物「高崎山のサル生息地」の適切な保全,その他の高崎山の適切な保存管理について検討することを目的とする。

第１回　令和２年６月12日(金)(書面開催)

第２回　令和３年２月頃　開催予定

③　大分元町石仏保存整備委員会

大分元町石仏の塩類風化への対策と手法の検討を行う。

令和２年12月頃開催予定

④　史跡大友氏遺跡整備検討委員会

国指定史跡である大友氏遺跡を大友氏遺跡

歴史公園として適切に整備し，効果的な活用方法を検討する。
令和３年２月頃　開催予定

⑤　大友氏館跡庭園整備検討委員会
供用を開始した大友氏館跡庭園の維持管理，運営について検討する。
令和２年10月下旬頃　開催予定

⑥　大友氏館跡建造物等復元整備検討委員会
大友氏館跡において発掘調査で確認された建造物等の復元内容について検討する。
第１回　令和２年９月頃　開催予定
第２回　令和２年11月頃　開催予定
第３回　令和３年１月頃　開催予定

⑦　府内城宗門櫓保存修理検討委員会
府内城宗門櫓の修理を進めるため，修理の方法等について協議する。
第１回　令和２年９月頃　開催予定
第２回　令和３年２月頃　開催予定

⑧　おおいた地域伝統文化応援事業選考委員会
大分市内に守り伝えられてきた伝統文化の継承・再興及び発展を通じ，世代間の交流の増進や地域の活性化を図ることを目的とする。
第１回　令和２年６月10日（水）書面開催
第２回　令和２年７月10日（金）開催

⑨　大分市伝統芸能伝承師認定委員会
大分市無形民俗文化財に指定された伝統芸能の伝承活動に従事する者のうち，高度の伝統的技術・技法を保持する指導者を大分市伝統芸能伝承師として認定することにより，伝統芸能の伝承者育成及び伝承団体や地域の活性化に資することを目的とする。
令和２年10月頃　開催予定

⑷　普及・愛護の啓発活動

①　大友氏遺跡情報発信事業

ア　ＦＵＮＡＩジュニア検定
郷土に対する理解と愛着を深めるため，小中学生を対象に歴史検定を実施し，成績上位者は表彰する。また，合格者のうち希望者を大友氏遺跡等のジュニアガイドとして養成する。

イ　大友宗麟副読本
市内の小学６年生に配布し，授業およびＦＵＮＡＩジュニア検定に活用する。
併せて，副読本をさらに詳しく説明した郷土学習資料「大友宗麟と府内のまち」を小学６年生に配布し，より詳しく学んでもらう。

ウ　南蛮ＢＶＮＧＯ交流館
大友氏遺跡の案内や最新情報の発信をより効果的に行うため，元町にある「大友氏遺跡体験学習館」を顕徳町の大友氏館跡内へ移転し，平成30年９月30日に「南蛮ＢＶＮＧＯ交流館」として開館した。大友氏遺跡や大友宗麟の功績について，展示や映像等により紹介するとともに，大友氏遺跡を中心とした歴史・文化の情報発信拠点として，効果的な活用を図る。

②　文化財防火デー
昭和24年１月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したため，この日を文化財防火デーと定め，文化財防火訓練を展開し，文化財愛護思想の高揚を図る。
実施予定日　令和３年１月下旬頃
予定箇所　　市指定有形文化財
「神庫」（西寒多神社）

２　令和元年度指定文化財

⑴　大分市指定文化財

指定日　令和元年12月６日

①　「紙本著色徳生範公像」（有形文化財）
江戸時代
所有者　長福寺



「紙本著色徳生範公像」

②　「少林寺板碑」（有形文化財）
所有者　少林寺



「少林寺板碑」



「少林寺板碑」

3 収蔵・公開施設

施設名	毛利空桑遺品館
所在地	〒870-0101 大分市鶴崎381番地の１
電 話	097-521-4893
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） ただし毎月第１月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12／28～１／４）
概 要	鶴崎在住の肥後藩士。儒者，教育家として家塾知来館・郷校成美館などで子弟を教育し，また勤皇家としても活動した毛利空桑の偉業をしのぶため，彼の遺品を収蔵，展示したものである。居宅天勝堂と知来館に隣接する。 昭和60年改築。 令和元年度入館者数 大 人 6,227人 小 人 441人 合 計 6,668人

施設名	池見家住宅
所在地	〒870-0315 大分市大字佐野　佐野植物公園内
電 話	なし（問合せは文化財課へ）
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 年末年始（12／28～１／３）
概 要	江戸時代，原村・久土村を統轄する臼杵藩丹生原組の庄屋を勤めた池見家の邸宅で，市内では最古の民家として歴史的な価値を持つものであり，また，普通の民家とは違って庄屋住宅としての構造をよく伝えた建物で，建築史の上からも注目される。 平成３年佐野植物公園内に移築復元。 令和元年度入館者数 大 人 3,906人 小 人 1,918人 合 計 5,824人

施設名	海部古墳資料館		
所在地	〒870-0303 大分市大字里646番地の１		
電 話	097-524-2300	FAX	097-524-2301
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） ただし毎月第１月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12／28～１／４）		
概 要	国指定史跡「亀塚古墳」のガイダンス施設として広く古墳文化を案内する施設。展示室には，実物資料や複製品のほか，大型ジオラマ，市内の古墳復元模型を展示し，楽しみながら学べる資料館です。 平成12年４月開館。 令和元年度入館者数 団 体 2,274人 個 人 16,655人 合 計 18,929人		

施設名	南蛮ＢＶＮＧＯ交流館		
所在地	〒870-0025 大分市顕徳町３丁目２番45号		
電 話	097-578-9191	FAX	097-544-5011
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） ただし毎月第１月曜日は開館し翌日休館 祝日の翌日（土･日曜日の場合開館） 年末年始（12／28～１／４）		
概 要	国指定史跡「大友氏遺跡」の案内や最新情報の発信をより効果的に行うため，大友氏館跡内に設置した仮ガイダンス施設。４つのゾーンがあり，工夫を凝らした展示や迫力ある映像等により大友氏遺跡や大友宗麟の功績について紹介するとともに，戦国時代の茶室をイメージした立体展示や当時をイメージした衣装体験が行える。 令和元年度入館者数 大 人 11,028人 子ども 2,893人 合 計 13,921人		

施設名	帆足本家酒造蔵		
所在地	〒879-7761 大分市大字中戸次4381番地の１		
電 話	097-597-4649	FAX	097-597-4649
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 年末年始（12／28～１／４）		
概 要	江戸時代に日向街道沿いの「在町」として栄えた戸次本町の中心に位置しており，江戸時代の酒造工程を今に伝える蔵やその中に酒造用具が展示されている。（大分市指定文化財） 令和元年度入館者数 団 体 390人 個 人 5,259人 合 計 5,649人		

4　指定等文化財

(1)　国指定

令和２年４月１日現在

①　重要文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　　要	参　　考
太刀	八　幡	柞原八幡宮	昭25. 8.29	銘　国宗　長さ　75.8cm	鎌倉時代
太刀	〃	〃	〃	銘　源国（以下一字並年号不明）　長さ　108cm	〃
薙刀直し刀	〃	〃	〃	銘　表「国重八幡大菩薩」裏「天満大自在天神」	鎌倉時代末期～南北朝時代
銅造仏像	〃	〃	〃	社伝　阿弥陀如来立像 金剛仏 重さ　11.25kg　像高30.3cm	白鳳時代
木造普賢延命菩薩坐像	〃	大山寺	昭50. 6.12	榧材　像高　87.7cm	平安時代
後藤家住宅	杵ヶ原	個人所有	昭50. 6.23	18世紀中頃の庄屋の母屋　寄棟造り　茅葺	江戸時代
白檀塗浅葱糸威腹巻兜・大袖・小具足付	八　幡	柞原八幡宮	昭55. 6. 6	胴高　32.3cm　草摺高　28.5cm 兜鉢高　18.0cm	室町時代末期
木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝戒寺	平 3. 6.21	文保２（1318）康俊作　檜材寄木造 像高　303.8cm	鎌倉時代
柞原八幡宮文書	八　幡	柞原八幡宮	〃	柞原宮領関係史料（213通）　元和７年	平安･鎌倉･南北朝･室町･江戸
帆足家伝来田能村竹田関係資料	美術館	大分市	平 6. 6.28	紙本墨画淡彩花卉図外25点	江戸時代
柞原八幡宮	八　幡	柞原八幡宮	平23. 6.20	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・拝殿・楼門・東回廊・西回廊・西門・南大門の10棟	江戸～明治
大分県府内大友氏遺跡出土品	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	令元. 7.23	大友氏居館周辺の町屋や寺院跡での出土品計1269点。中国や朝鮮半島，東南アジア産の陶磁器，キリスト教に関わるメダイ，ガラス製のコンタ。	戦国時代

②　史跡

豊後国分寺跡	国　分	大分市	昭 8. 2.28	国分僧寺 追加指定（昭58. 9. 8　昭61. 5.28）	奈良時代
大分元町石仏	元　町	〃	昭 9. 1.22	日羅または仁聞の作と伝えられる 保存修理　昭46，52，53，61年以降	平安時代
高瀬石仏	高　瀬	〃	〃	石窟を彫り込み奥壁に東を向いて彫られる	平安～鎌倉時代
千代丸古墳	宮　苑	〃	昭 9. 5. 1	装飾古墳　横穴式石室	古墳時代後期
築山古墳	本神崎	八幡神社	昭11. 9. 3	前方後円墳　箱式石棺	古墳時代中期
古宮古墳	三　芳	大分市	昭58. 5.11	石棺式石室墳　九州では他に例なし	終末期古墳（７世紀）
亀塚古墳	里	〃	平 8. 3.28	前方後円墳　全長約116m	古墳時代中期
大友氏館跡	顕　徳	〃	平13. 8.13	九州六国を支配した大友宗麟を全盛期とする戦国大名・大友氏の拠点方二町（200m四方）	戦国時代
横尾貝塚	横　尾	〃	平21. 2.12	縄文時代の集落の移り変わりが復元できる。縄文時代からの地形と自然がよく残されている。	縄文時代

③　天然記念物

柞原八幡宮のクス	八　幡	柞原八幡宮	大11. 3. 8	自生のクス　樹高約30m　幹囲約18.5m	
高崎山のサル生息地	神　崎	大分市	昭28.11.14	都市近郊における日本猿の自然的集団	

④ 無形民俗文化財（選択）

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　要	参　考
鶴崎踊	鶴　崎	鶴崎おどり保存会	昭61.12.17	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	

⑤ 登録文化財

大分銀行赤レンガ館（旧二十三銀行本店・旧府内会館）	府内町	㈱大分銀行	平 8.12.20	鉄筋コンクリート造2階建　スレート及び瓦棒葺	大正２年（1913）
太田缶詰工場主屋	白　木	㈱秀観	平11. 6. 7	木造2階建　寄棟造　洋風の玄関特徴　接客用座敷や和室の居住部分と工場事務室併設	明治39年（1908）
太田缶詰工場土蔵	〃	〃	平11. 6. 7	切妻造の２階建て　外壁漆喰仕上げ	〃
太田缶詰工場石倉	〃	〃	平11. 6. 7	外壁周りを石造　軒周り漆喰仕上げ 正面左右に２つ出入り口があるのが特徴	大正期
荻本家住宅主屋	坂ノ市	個人所有	平17. 7.12	木造平屋建一部二階建　瓦葺 建築面積244㎡	江戸末期
帆足家分家住宅「松石不老館」主屋	中戸次	個人所有	平17.11.10	入母屋造，桟瓦葺，木造２階建　通り土間をもつ商家建築の形式	明治39年（1908）
帆足家分家住宅「松石不老館」新座敷	〃	〃	〃	寄棟造，桟瓦葺，木造平屋建　南側に広縁をとり中庭を望む　門及び塀は桟瓦屋根	明治中期
帆足家分家住宅「松石不老館」道具蔵	〃	〃	〃	切妻造，桟瓦葺，土蔵造２階建　切石積みの上に建つ　海鼠壁	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」質蔵	〃	〃	〃	切妻造，桟瓦葺，土蔵造２階建　切石積みの上に建つ　海鼠壁　桟瓦屋根の板塀及び門	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」湯殿及び風呂	〃	〃	〃	湯殿を南北棟，風呂を東西棟とし，両棟が接して建つ　寄棟及び入母屋の屋根，共に桟瓦葺	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」井戸上屋	〃	〃	〃	切石積みの基壇の上に四方に柱を立て，切妻造，桟瓦葺　切石を長方形の井桁に組む	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」穀物蔵	〃	〃	〃	切妻造，桟瓦葺，土蔵造2階建　引戸口2箇所全長に吹き放ちの下屋　切石積みの上に建つ	明治22年
帆足家分家住宅「松石不老館」味噌蔵	〃	〃	〃	切妻造，桟瓦葺，木造平屋建　下屋北側２間半分を壁で囲む　切石積みの上に建つ	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」裏二階	〃	〃	〃	寄棟　桟瓦葺 木造２階建　裏木戸中央に１間幅の観音開きの木戸口	明治中期
帆足家分家住宅「松石不老館」門	〃	〃	〃	間口は2.7m，棟門の形式　桟瓦葺，木造　両脇に塀を続け，門脇に潜戸を設ける	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」塀	〃	〃	〃	切石積みの上に建ち，腰を下見板張り，上部を真壁造，漆喰塗り　２箇所格子窓，桟瓦葺屋根	〃
帆足家本家住宅「富春館」主屋	中戸次	個人所有	平18.11.29	木造二階建　一部平屋　入母屋造　桟瓦葺 南側中央式台玄関を設け　西側に一段高い座敷	慶応元年（1865）
帆足家本家住宅「富春館」宝蔵	〃	〃	〃	土蔵造二階建　切妻造　桟瓦葺　一階２室二階１室　外壁漆喰ぬり　腰を海鼠壁	大正期
帆足家本家住宅「富春館」質蔵	〃	〃	〃	土蔵造二階建　切妻造　桟瓦葺　一階２室二階１室　外壁漆喰ぬり　腰を海鼠壁	大正５年頃
帆足家本家住宅「富春館」洋館	〃	〃	〃	木造二階建　寄棟造 桟瓦葺　南側に洋室 東側に店舗を付属　モルタル壁　石造風	大正５年（1916）
帆足家本家住宅「富春館」離れ	〃	〃	〃	木造平屋建　寄棟造　桟瓦葺　南側に廊下 北側中央に八畳座敷　書院風のつくり	昭和12年（1937）
帆足家本家住宅「富春館」表門	〃	〃	〃	質蔵と洋館の間に建つ　二間幅の棟門　木造切妻造　桟瓦葺　両脇に袖塀	江戸末期
帆足家本家住宅「富春館」中門	〃	〃	〃	主屋式台玄関の西側　間口一間　木造腕木門 切妻造　桟瓦葺　両脇に袖壁	江戸末期
帆足家本家住宅「富春館」塀	〃	〃	〃	主屋南側の庭の南側と西側を囲い，質蔵北西隅から宝蔵南まで延びる。南東隅に腕木門	大正期
浄土寺本堂	王子西町	浄土寺	平20.10.23	木造平屋建　入母屋造　本瓦葺　大規模な七間堂	嘉永２（1849）
浄土寺庫裏	〃	〃	〃	木造２階建　寄棟造妻入桟瓦葺　床つきの座敷・奥座敷	江戸後期・末期改修
浄土寺玄関及び渡廊下	〃	〃	〃	木造平屋建　本堂と庫裏を繋ぐ　入母屋屋根の玄関	江戸末期

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　　要	参　　考
浄土寺大弁才天石宮	王子西町	浄土寺	平20. 10. 23	石造　庫裏の西北　庭園内に建つ　一間社流造	明治44年（1911）
浄土寺一伯公廟	〃	〃	〃	木造平屋建　入母屋造妻入桟瓦葺　松平忠直の墓碑を安置する	江戸後期 大正14・昭和49移築
浄土寺表門	〃	〃	〃	木造　左右袖塀付　本堂正面に建つ四脚門	明治後期 昭和26改修49移築
浄土寺北門	〃	〃	〃	木造　瓦葺　柱上に皿斗を置き，その上に台輪をまわす	大正14年（1925） 昭和49年移築
植木家住宅主屋	王子中町	個人所有	平22. 5. 20	木造２階建入母屋造　１階に出格子彫刻入持送り　市内中心部に残る数少ない商家	安政元年（1854） 頃
植木家住宅離れ	〃	〃	〃	入母屋造桟瓦葺　床・違棚・書院を構え意匠に凝る	昭和４年（1929）
植木家住宅離れ控えの間	〃	〃	〃	庇の意匠が数寄屋風　渡り廊下が付随する	昭和4年（1929）
旧豊予要塞司令官官舎	佐賀関	〃	平30. 11. 2	大正15年(1926)に発足した豊予要塞の司令官官舎。大正14年(1925)から大正15年(1926)年頃の建築。洋風の暖炉のある応接間がある。	大正14年(1925)から 大正15年(1926)

(2)　県指定

①　有形文化財

柞原八幡宮文書附絵図	八　幡	柞原八幡宮	昭35. 3. 22	絵図のみ	江戸時代
八幡宇佐宮御託宣集附裏書	〃	〃	〃	宇佐神宮に関する記録16巻と裏書２からなる 文明２年（1470）	室町時代
詫摩文書	大分市歴史資料館	個人所有	〃	合計11巻　286点の文書 嘉応元年（1169）～慶長16年（1611）	平安時代末期～ 江戸時代初期
都甲文書	大分県立先哲史料館	個人所有	〃	合計４巻　90通	平安～江戸時代
刀	森	個人所有	昭43. 3. 29	豊州高田庄　藤原行長　慶長五年	戦国時代
刀	野津原	個人所有	昭40. 3. 9	銘　貞行　　応永時代	室町時代前半
刀	高松東	個人所有	昭43. 3. 29	銘　平鎮教　　長さ　81.6cm	戦国時代 （永禄年間）
木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭44. 3. 22	檜材　寄木造　像高　86.3cm	平安時代後期
木造不動明王立像	八　幡	柞原八幡宮	昭45. 3. 31	〃　　〃　　像高　78.8cm	鎌倉時代末期～ 南北朝時代初期
木造女神形坐像	〃	〃	〃	樟材　一木造　像高　39.5cm	平安時代後期
木造菩薩形坐像	〃	〃	〃	〃　　〃　　像高　46.6cm	〃
木造祖師形坐像	〃	〃	〃	〃　　〃　　像高　54.8cm	平安時代末期
板彫多聞天立像	〃	〃	〃	〃　　〃　　像高　78.4cm	鎌倉時代
板彫不動明王立像	〃	〃	〃	〃　　〃　　像高　76.9cm	〃
紙本著色由原八幡宮 縁起絵巻附極書二通	〃	〃	〃	絵　土佐光茂 詞　青蓮院宮尊鎮法親王	室町時代
紺紙金泥増壱阿含経	〃	〃	〃	11紙　縦34cm，横64.2cm 文和４年（1355）に尼法忍により施入	平安時代末期
山水蒔絵縁起絵巻納箱	〃	〃	〃	銘　元和八年中川秀征（岡藩２代藩主）寄進	江戸時代初期
紙本著色厩図六曲屏風一双	上野丘	円寿寺	昭46. 3. 23	土佐派の画風春隻と秋隻（各）150.0×52.5cm	江戸時代中期
絹本著色柿本人磨図	〃	〃	〃	土佐信実筆の墨書あり　縦34.5cm　横37.5cm	鎌倉時代後期
刀	千代町	個人所有	昭49. 3. 19	銘　藤原統行 平成16年６月21日所有者変更による	

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　　要	参　　考
紙本著色風俗画	大分県立美術館	宗玄寺	昭53. 3.31	大分県杵築市宗玄寺所有 大分県立美術館　寄託	
安藤家刀	横　尾	個人所有	昭54. 5.15	銘　豊州高田住大和大椽藤原貞行 平成16年６月21日所有者変更による	
中間石幢	志津留	共有	昭55. 4. 8	造立者の墨書銘あり　応永６年（1399）造立	室町時代
万年橋	寒　田	西寒多神社	昭55. 4. 8	文久２年（1862）建造（西寒多神社境内）	江戸時代
金剛宝戒寺木造釈迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭57. 3.30	檜材　寄木造　像高161.6cm	鎌倉時代
豊後国諸検地帳	大分県立先哲史料館	大分県	〃	文禄２年（1593）７冊　他全82冊 平９年大分県立先哲資料館	安土桃山時代～江戸時代初期
太刀	坂ノ市	個人所有	昭63. 3.15	「豊州之住人直宗作　応永十八年□月十五日」銘	室町時代
木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平 9. 3.25	檜材　寄木造　像高68cm	鎌倉時代後期～南北朝時代
刀	大道町	個人所有	平10. 3.20	豊後国高田住藤原實行作	江戸時代
脇差	〃	〃	〃	〃	〃
築山古墳出土品	本神崎	築山古墳保存会	平10. 3.20	築山古墳出土品一括	古墳時代
絹本著色阿弥陀如来迎図	森　町	専想寺	平11. 3.23	１幅	室町時代
木造阿弥陀如来立像	〃	〃	〃	１躯	鎌倉時代
巴形銅器	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	〃	考古資料	弥生時代
教尊寺（７棟）	本神崎	教尊寺	平11. 3.23	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘楼・山門 江戸期の伽藍構成　建物の大方が現存	江戸時代
絹本著色中川家歴代藩主画像	大分県立美術館	西光寺	平12. 3.24	大分県竹田市西光寺所有　大分県立美術館寄託	江戸時代
刀	常　行	個人所有	平13. 4. 3	銘　平長盛（豊後刀の作風強く残す）	室町時代
刀	森　町	個人所有	平13. 4. 3	銘文　平　長盛 平成19年７月24日 所有者変更で臼杵市より	室町時代
木造聖観音菩薩坐像	八　幡	大山寺	平14. 3.29	樟材　一木造　像高　273.5cm	平安時代
木造十一面観音菩薩立像	永　興	臨済寺	〃	桧材　寄木造　像高　170cm 平成18年５／18所有者変更	〃
早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女神社	平16. 3.30	切妻造　本瓦葺	江戸時代
早吸日女神社本殿	〃	〃	〃	三間社流造　檜皮葺	〃
早吸日女神社社家（小野家住宅）	〃	〃	〃	入母屋造　桟瓦葺	〃
長湯横穴墓群第７号墓出土品	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	平17. 3.29	鹿角製刀装具装着鉄刀　他　計28点	古墳時代後期
木造地蔵菩薩立像（愛宕地蔵）	青　石	妙蔵寺保存会	平17. 3.30	像高81.5cm，材質檜，寄木造，彫眼，漆箔が施されている	鎌倉時代
絹本著色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平18. 3.31	縦212.3cm　横214.5cm	鎌倉時代
木造聖徳太子二歳立像	勢　家	法専寺	平18. 3.31	桧材寄木造　玉眼　像高68.2cm	鎌倉時代
銅造如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	平19. 3.30	総高16.3cm　像高15.1cm　銅鋳造製　鍍金あり	飛鳥～白鳳
大志生木宝篋印塔	十　谷	西岡神社	平21. 3.17	應安六年癸丑六年（1373）の銘。[塔供養」と刻まれている。平成21年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
王ノ瀬石棺	大分市海部古墳資料館	共有	平24. 3.13	家形石棺　辻古墳の主体部が王ノ瀬石棺だった可能性が高い。	古墳時代中期

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　　要	参　　考
先哲史料館稲葉家文書	大分県立先哲史料館	大分県	平26. 2.14	臼杵藩主稲葉家に伝えられた文書。	江戸時代
猪野遺跡出土銅矛	歴史資料館	大分市	平28. 2.23	弥生中期末から後期初頭にかけて制作されたと思われる中広形銅矛。大分県下唯一の発掘調査による出土品。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	松　岡	長興寺	平28. 2.23	鎌倉時代から南北朝時代にかけて，慶派仏師の作と考えられる。	鎌倉時代末期～南北朝時代初期
佐知遺跡17遺構出土品	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	平28. 2.23	中津市三光佐知遺跡から出土した遺物。男性を埋葬した墓で，太刀，鉄製矢じり等46点。	鎌倉時代
龍頭遺跡出土編袋	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	平28. 2.23	杵築市山香町野原　龍頭遺跡より出土。ツル植物で編まれた袋。当時の技法がわかる。	縄文時代後期
高野山本覚院文書	大分県立先哲史料館	大分県	平29. 3. 7	大友氏およびその家臣，近世大名にかかる書簡等1946点の文書が残されている。	中世～近代
一方平Ⅰ遺跡出土石器群	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	平29. 3. 7	大分市横尾字一方平から出土した石器群。石器製作技術の全工程が復元できる資料。	旧石器時代後期
東田室遺跡出土絵画土器	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	平29. 3. 7	大分市田室町古墳時代の竪穴住居跡から出土，龍文のひれ部分が描かれた絵画文様。	古墳時代中期前半
絹本著色隠元・木庵・即非三幅対像	田　室	長福寺	平30. 2. 6	黄檗宗三禅師肖像画　寛文元年（1661）制作	江戸時代
四日市遺跡出土木棺墓出土品	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	平30. 2. 6	「青磁唾壺」「隅入宝鏡」等の出土。被葬者は大宰府に関係する玖珠郡の官人と考えられる。	平安時代
田尻家文書 附仏像二躯　鏡一面	大分県立先哲史料館	大分県	令 2. 2.25	田尻家は大友氏4代親時の孫を祖先としており，豊後国と肥後国に配置された。国境地帯の動向を知る貴重な文書。	室町時代～江戸時代

② 史 跡

丑殿古墳	賀　来	丑殿神社	昭30. 5.28	横穴式石室　家形石棺（昭47年保存施設）	古墳時代後期
脇蘭室墓	鶴　崎	大分市	昭32. 3.26	墓碑　表面に高弟帆足萬里による　「文教脇先生墓」の六字	江戸時代
楠木生石造五重塔	下戸次	個人所有	昭34. 3.20	銘　延文五年（1360）庚子三月十七日	南北朝時代
府内城跡	大手町 荷揚町	大分市	昭38. 2.15	石垣，土塀，堀，櫓２，櫓跡１	江戸時代
曲石仏付双塔（五輪塔）・磨崖連碑	曲	共有	昭41. 3.23	磨崖仏　石窟内に丸彫りの像や陽刻の像が安置される（昭47年補修）	平安時代末期～室町時代
口戸磨崖仏附磨崖五輪双塔	口　戸	個人所有	昭44. 3.22	宇佐八幡宮と関連ある磨崖仏	鎌倉時代末期～室町時代
毛利空桑旧宅及び塾跡	鶴　崎	大分市	昭45. 3.31	空桑私宅「天勝堂」塾「知来館」安政４年（1857）一緒に建設　遺品館に遺品陳列	江戸時代
岩屋寺石仏	古国府	円寿寺	〃	国指定解除物件	鎌倉時代～室町時代
参勤交代道路	今　市	大分市	昭47. 3.21	幅2.1m　長さ660mの石畳	江戸時代
蓬莱山古墳	庄ノ原	共有	昭56. 3.31	前方後円墳　全長60m	古墳時代前期
毛利空桑墓	常　行	共有	昭62. 6.29	墓碑「日本国儒者毛利到墓」と大書　陰刻 昭36.3.14指定後地番誤記判明昭62.6.29再指定	江戸時代
小牧山古墳群	松　岡	大分市	平23. 2.29	方墳３　円墳２　前方後円墳１　　保存状態良好	古墳時代

③ 無形民俗文化財（選択）

賀来神社卯酉の神事	賀　来	共有	昭33. 3.25	記録保存の措置を講ずべきものとして選択 「賀来の市」	
鶴崎踊	鶴　崎	鶴崎おどり保存会	昭56. 3.31	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	

④ 天然記念物

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　要	参　考
高島のビロウ自生地	高　島	大分市	昭30. 5.27	1株	
高島のウミネコ営巣地	〃	〃	〃	400羽程度　5月～8月中旬に営巣	

(3) 市指定

① 有形文化財

熊野権現縁起絵巻	津　守	熊野神社	昭49. 1. 9	松平忠直の遺品　全13巻（熊野神社）	江戸時代
神庫	寒　田	西寒多神社	〃	校倉造　応永15年（1408） 明治19年改修　（西寒多神社境内）	室町時代
鳥居	王子町	王子神社	〃	寛政8年　（1796）　2月建立（王子神社境内）	江戸時代
刀（大・小）	府内町	個人所有	〃	毛利空桑所持刀　刀　長さ　89.5cm 脇差　長さ　59.0cm	刀　室町時代 脇指　江戸時代
刀	歴史資料館	大分市	〃	表銘　豊府家士神弧丸盛利行年七十才作 裏銘　天保9年戊戌1月■日任望角幸安鍛　天保9年(1838)	江戸時代
円寿寺相伝文書及び大友資料	上野丘	円寿寺	昭51. 8.24	開基道勇置文以下15件内 大友関係資料　1巻12通	鎌倉時代～室町時代
大般若経本附納函	大分県立先哲史料館	〃	〃	寛正4年（1463）　寄進	室町時代
御城下絵図	歴史資料館	大分市	昭56. 8. 1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの	江戸時代
十一面観音立像	国　分	国分寺	〃	桜材　寄木造　像高　106.2cm　藤原仏の特徴	平安時代後期
万寿寺石造国東塔	金　池	万寿寺	昭56. 8. 1	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代
波奈之丸屏風（厳島神社図）	歴史資料館	個人所有	平 2. 7.16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期
熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東鶴崎	叡八幡社	平 3. 3.27	熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 ［寛政10年（1798）］	江戸時代
岡藩船三佐入港船絵馬	三　佐	野坂神社	〃	岡藩の参勤交代船の模様を描い絵馬 ［文化10年（1813）］	〃
府内藩校遊焉館絵図	歴史資料館	弥栄神社	平 6. 2.28	遊焉館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期
帆足本家酒造蔵	中戸次	大分市	平11. 3.23	酒造過程のわかる木造建築物	江戸時代末期以降
脇指	府内町	個人所有	平16. 3.31	銘文　表　豊州藤原友行 裏　貞治七年三月日（1368）	南北朝時代
刀	森　町	個人所有	平16. 3.31	銘文　表　豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏　明暦元年九月吉日（1655）	江戸時代初期
刀	永　興	個人所有	平16. 3.31	銘文　表　長谷部國重　相伝の名門の一派「府内國重」とも呼ばれる	室町時代後期
木造宝冠釈迦如来坐像	太　田	個人所有	平17. 3.31	桧材　寄木造　像高68.5cm	南北朝時代
木造毘沙門天立像	恵　良	西福寺	〃	桧材　寄木造　像高65cm	江戸時代前半
木造薬師三尊立像	本　町	福城寺	〃	桧材　一木彫成	室町時代前半
銅造観音菩薩立像	今　市	安楽寺	〃	銅製の像　像高26.2cm　懸仏	鎌倉時代後半
丸山八幡神社楼門	〃	丸山八幡神社	〃	享保5年（1720）入母屋造　3回修理	江戸時代
木造地蔵菩薩立像（愛宕地蔵）	本神崎	八幡神社	〃	像高96.8cm，台高36.5cm，材質檜，寄木造，玉眼入りで彩色が施されている	江戸時代初期
大平文書	大　平	個人所有	〃	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二大別される	江戸時代～明治時代

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　　要	参　　考
若林文書・系図	一尺屋	個人所有	平17. 3.31	大友氏の水軍として活躍した若林家の文書。国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書である。	戦国時代
早吸日女神社石鳥居	佐賀関	早吸日女神社	平17. 9.27	寛永17年（1640）６月の刻銘 熊本藩主細川忠利の寄進	江戸時代初期
早吸日女神社神楽殿	〃	〃	〃	文政10年（1827）以降，元の半分の規模で現在地に移築大正４年改築切妻造本瓦葺	江戸時代後期
早吸日女神社拝殿	〃	〃	〃	宝暦13年（1763）６月細川重賢建立 嘉永３年（1850）改修　入母屋造本瓦葺	江戸時代中期
熊本藩船佐賀関入港船絵馬	〃	〃	〃	藩主が参勤交代時に座乗する御座船の図で，描写法や画材などから江戸末期の作品	江戸時代末期
西谷橋	大　平	大分市	〃	文政７年（1824）甲申３月臼杵大野の石工，新左エ門・友蔵によって構築架橋	江戸時代後期
西福寺宝篋印塔	恵　良	西福寺	平17. 3.31	宝篋印陀羅尼経を納めた供養塔　総高258.5cm	室町時代
福城寺逆修石幢	本　町	福城寺	〃	大永６年（1526）の銘	戦国時代
福城寺宝塔	〃	〃	〃	総高244.5cm	南北朝時代後半
山の川石造宝塔・宝篋印塔	入　蔵	個人所有	〃	どちらも溶結凝灰岩製	室町時代前半
摺石幢	摺	個人所有	〃	総高226cm　八角形	戦国時代
原村石幢	原　村	個人所有	〃	安山岩製　総高269cm	室町時代後半
地福寺宝塔	福　宗	地福寺	〃	２基並立　向かって右184cm，左176cm	室町時代中期
地福寺石幢	〃	〃	〃	明和８年（1771）の銘　凝灰岩製	江戸時代中期
永冨家逆修碑（３基）	新　町	個人所有	〃	生前に供養する供養石塔　慶長５年（1600）の銘	安土桃山時代末期
宝泉寺大乗妙典一字一石塔	竹　屋	個人所有	〃	総高215cm　享保12年（1727）の銘	江戸時代
霊山寺山門	岡　川	霊山寺	平19. 8.12	木造・銅板葺・三間一戸二重門。禅宗様の特徴が表れている。古文書より寛永15年(1638)建築。	江戸時代
常楽寺文書	岡　川	常楽寺	平19. 8.12	大友松野家系図・大友歴代の記載が豊富 少弐頼尚施行状写・毛利輝元書状写・・政治状況	中世・近世
光西寺真宗関係資料	末広町	光西寺	平19. 8.12	六字名号・親鸞聖人像・方便法身像・親鸞聖人絵伝　六字名号は蓮如真筆	室町・江戸時代
水分神社銅鉾	横　尾	水分神社	平20.12.4	完形品と残欠２個　精巧な鋳上がりで埋納されていた　北部九州で鋳造	弥生時代中期末～弥生時代後期前
伝岩屋遺跡出土石戈	歴史資料館	個人所有	〃	細型で遠賀川流域で製作された可能性	弥生時代中期
勝光寺華南三貼花文五耳壺	歴史資料館	勝光寺	平21.12.16	深い光沢のある緑色を基調とした優品	安土桃山時代
大分市内出土　青銅破鏡	歴史資料館 埋蔵文化財センター	大分市 大分県	〃	漢鏡	弥生時代後期～後期終末
原田家宝篋印塔	福　宗	個人所有	平22.12.17	総高147cm　安山岩製　四方仏の尊影を浮き彫りにしている。	室町時代
大分市内出土　青銅器	歴史資料館	大分市	〃	青銅製ヤリガンナ，小銅鐸	弥生時代中期～後期
「天長九年尼寺」「尼寺」墨書土器３点	歴史資料館	大分市	平23.12.19	豊後国分寺西側より出土。国分尼寺の位置を推定する資料。	平安時代
伝名辺山谷出土銅矛	歴史資料館	大分市	平26. 3.11	弥生中期末から後期初頭にかけて北部九州へ制作されたと思われる中広形銅矛。江戸時代に大分市木田の名辺山谷より出土したとされる。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	永　興	臨済寺	平27. 7. 3	江戸時代初期から中期にかけて活躍した，大坂の仏師宮内法橋の作と考えられる	江戸時代中期
松栄神社所蔵絵図	歴史資料館	松栄神社	平27.12.25	府内城の櫓および府内藩の施設の姿を表した絵図および指図	江戸時代後期
合澤家所蔵文書	中　島	個人所有	平27.12.25	戦国時代に佐賀関一尺屋を拠点として活躍した若林水軍に関係する文書	室町時代～明治時代

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　　要	参　　考
立小野区有文書	歴史資料館	立小野区	平29. 3. 9	江戸時代延岡藩領であった立小野村に残され伝えられた文書。隣接する村々との境界紛争を中心とし,「傘連判状」が残されている。	江戸時代～昭和
木造五劫思惟阿弥陀如来坐像	片　島	片島下区	平29. 3. 9	桧材の寄木造で，単純な衣文，ふくよかな童顔をしており,15世紀の作と考えられ，全国的に造像例が少ない。	室町時代
大分市出土同笵銅戈	歴史資料館	大分市 住吉神社	平30.12. 7	細形銅戈で,「伝岩屋遺跡出土銅戈」と大在の「住吉神社所蔵銅戈」と同じ鋳型より製作された同笵銅戈。	弥生時代中期
紙本著色徳生範公像	田　室	長福寺	令元.12. 6	座主が豊後国黄檗宗の重要寺院であった長福寺の開基であることから，歴史的に貴重。	江戸時代
少林寺板碑	木　上	少林寺	令元.12. 6	銘文より貞和６年（1350）の建立年代，建立の経緯が明らかであり，歴史的に貴重。	南北朝時代

② 史跡

大友頼泰墓	岡　川	常楽寺	昭49. 1. 9	五輪塔　高さ176㎝　大友氏三代 延享元年(1744)以降　　平19.6.4所有者修正	江戸時代
丹生遺跡	丹　生	大分市	〃	昭和37年～42年にかけて，６次にわたって調査	旧石器時代
滝尾百穴横穴古墳群	羽　田	共有	〃	横穴古墳群	古墳時代後期
伽藍石仏	永　興	個人所有	〃	仏像の配列に特徴あり	鎌倉時代～ 室町時代
府内城跡	荷揚町	大分市	平 7. 2.17	県指定部分を除く城地	江戸時代
佐藤家墓地五輪塔群	前　田	個人所有	平17. 3.31	材質すべて角閃石安山岩　完形41基	戦国時代～ 江戸時代初期
鶴迫磨崖仏	太　田	地福寺	〃	地蔵尊「火防（ひぶせ）の地蔵さま」と呼ばれる	安土桃山時代末期 ～江戸時代初期
鶴迫磨崖連碑	〃	個人所有	〃	15基の板碑型の碑　永禄２年（1559）の銘	室町時代末期

③ 無形民俗文化財

柞原太鼓	八　幡	保存会	昭54. 6.14	柞原八幡宮の放生会「浜の市」に起源をもつ。	
深山流　伊与床神楽	端　登	神楽社	平12. 6.16	市内唯一の深山流の流れをもち，忠実に古様を伝えている。	
岡倉神楽	下　原	保存会	平18. 3. 7	勇壮な神楽であり，活発に活動している。また，伝承も計画的に行われている。	明治時代～
二目川百手まつり	横　尾	保存会	平25. 1.11	毎年１月20日に開催。畳に座り的を射る儀式「的矢の儀」を継承している。	江戸時代～
鶴崎踊	鶴　崎	鶴崎おどり 保存会	昭56. 3.31	江戸時代中期以降に発達した。左衛門，猿丸太夫がある。	国選択無形民俗文化財 県選択無形民俗文化財
戸次のほうちょう作り	中戸次	保存会	平30.12. 7	大分地方を代表する郷土料理「ほうちょう」の作り方を継承	

④ 無形文化財

廻栖野の竹細工技術	廻栖野	保持者 ２名	平23.12.19	長いヒゴを使用した，青物系の竹細工技術。大分県在来の古い技術。	

⑤ 無形民俗文化財（選択）

羽田神楽	羽　田	大分社	平17. 9.27	昭和45年創立と新しいが，庄内神楽の流れをくみ伝承に熱心に取り組んでいる（選択）	昭和45年～

⑥ 有形民俗文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘　　要	参　　考
鰮網大漁光景図絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平17. 9.27	明治45年に奉納された漁撈絵馬で当時の鰮網漁の様子が詳細に描かれている	明治時代
漁業図大絵馬	〃	〃	〃	明治35年に奉納された漁撈絵馬で珊瑚樹採取の船団を描写している	明治時代
帆足本家酒造用具一式	中戸次	大分市	〃	多くの酒造用具が残され，それらは伝統的な民具で構成されている（342点）平19.2.8大分市へ寄付	江戸時代末期～昭和47年

⑦ 天然記念物

オオイタサンショウウオおよび生息地	岡　川	霊山寺	昭49. 1. 9	希少種とされている　　（霊山寺境内）	
ヤマフジ	寒　田	西寒多神社	〃	枝張り　東西約24m，南北約５mの範囲で広がる（西寒多神社境内）	
クスノキ	下戸次	八幡神社	〃	高さ約20m　樹冠の広がり東西約33m南北45m（八幡社境内）	
柞原八幡宮の森	八　幡	柞原八幡宮	平 2. 9.12	自然林の残存林　柞原八幡宮境内林	

5 大分市歴史資料館

大分市大字国分960番地の１
電話　549-0880
FAX　549-5766

⑴ 運営方針

市内を中心とした考古，歴史，民俗の各分野にわたる資料を公開展示するとともに，企画展示，テーマ展示，各種の講座・講演会などを通して，広く市民が郷土の歴史を学ぶ場をめざしている。また，学校と連携して各教育課程に適応した歴史学習や体験活動のプログラムを充実させ，職員が学校に出向いて体験活動の指導を行う「出張歴史教室」を推進する。

更に，大友氏関係及び同時代の歴史資料の調査研究と収集を進め，郷土資料の保存・公開をはかり，大分の歴史に関する情報を積極的に発信する。

⑵ 施設の概要

昭和62年４月　開館

敷地面積　4380.00㎡　建築面積　1889.60㎡
延床面積　2576.92㎡　展示室面積　690.75㎡

⑶ 展　　示

原始から近世までの通史的展示と民俗資料の常設展示をしている。各種の模型やイラスト，年表などを多用し，平易で立体的な展示を行っている。また，テーマ展示室を設け，テーマ毎に順次館蔵品等を公開している。

① １階ホール

豊後国分寺七重塔復元模型（１／10），市内の石仏案内。

② 常設展示室

第１展示室　大分のあけぼの，大分の君と古墳の時代，国分寺と律令の時代。
第２展示室　大友宗麟と中世，近世の府内。
民俗展示室　明治から昭和にかけての食卓風景を中心に，その時代に使われた生活道具をオープン展示。

③ テーマ展示室

常設展示以外の館蔵資料を中心に年３回テーマに沿って展示。

④ 子ども歴史学習コーナー及び自分史・家族史コーナー

子どもたちの調べ学習に利用できる歴史・郷土史の本を設置。さらに，自分史・家族史の展示コーナーを設置。

⑤ 豊後国分寺跡の散策

七重塔跡・金堂跡の礎石や，整備された講堂・食堂・回廊・中門跡をめぐり，奈良時代を追体験しながらの散策が楽しめる。

⑷ 企画展（令和２年度）

① 第39回特別展（＊１）

「大分の人形浄瑠璃」

会期　10月17日（土）～11月23日（月）
（開館日数：33日）

内容　ふるさと大分には，阿波（徳島）の人形浄瑠璃の影響を受けて発展したと言われる，大分市木佐上地区轟神社に伝わる人形浄瑠璃がある。本展覧会では，大分市木佐上地区に伝わる木佐上の浄瑠璃人形を中心に，人形浄瑠璃の歴史，江戸時代の浜の市の賑わい，大分とのつながりを有する淡路・阿波の人形浄瑠璃文化などを紹介する。



「御城下絵図」

② テーマ展示（令和２年度）

第１回「お屋形様からの手紙」（＊２）
会期　４月25日（土）～６月28日（日）
内容　義鑑・義鎮（宗麟）・義統からの書状を中心に大友氏を取り巻く戦国時代の状況や豊後府内の様子を紹介する。

第２回「むかしなつかし大分の鉄道」（＊１）
会期　７月18日（土）～９月13日（日）
内容　日豊本線・久大本線・豊肥本線・別大電車の古い写真や路線図などの資料を展示し，大分の鉄道の歴史を紹介する。

第３回「松平殿様物語」（＊１）（＊３）
会期　１月23日（土）～３月28日（日）
内容　府内藩の大給松平家・杵築藩の能見松平家・越前福井二代藩主松平忠直（一伯公）などの大分にゆかりある大名たちのくらしを様々な資料から紹介する。

（＊１）令和３年度以降へ延期
（＊２）特別展に代わり開催
（＊３）代わりに，「大分市の歴史図鑑」を開催

⑸　各種講座（令和２年度）

講　座　名	期　　間（開催日時）		定　員	内　　容	備考
ふるさとの歴史再発見　・考古のコース（＊１）	４月～６月 計５回	原則 第２・第４ 土曜日 午後２時～ ３時30分	70名	大分県内の発掘調査にかかわる報告	有料
ふるさとの歴史再発見　・歴史のコース（＊１）	７月～９月 計５回		70名	郷土大分の歴史と人物について	有料
ふるさとの歴史再発見　・民俗・文化史のコース	10月～12月 計４回		70名	大分の民俗と文化について	有料
ふるさとの歴史再発見　・古文書のコース	１月～３月 計５回		70名	中・近世文書の解読	有料
ふれあい歴史体験講座 （親子と一般）	原則毎月第１・３土曜日 午前９時30分～と 午後２時～　の２回		各70名	管玉丸玉作り／土笛作り／勾玉作り／粘土埴輪作り/和凧作り／土偶作り／土の鈴作り／かご編み／土面作り／折り紙雛作り　など	有料
				火起し	無料
昔のおもちゃで遊ぼう （親子と一般）（＊１）	５月５日（火）こどもの日 午前９時～午後４時		なし	資料館隣の広い史跡公園で，手作りのおもちゃ（竹馬，コマ，お手玉等）で遊ぶ	無料
勾玉作り教室 （親子と一般）（＊２）	８月１日（土） 午前９時～　午後１時～		なし	事前申し込み不要で，好きな時間に勾玉作りを体験する	有料
夏休みジュニア歴史探検 （小４～中学生）（＊１）	８月３日（月） 午前９時30分～ 午後３時30分		30名	小中学生を対象に，史跡をめぐる歴史探険などの活動を実施する	有料
歴史教育研修 （小中学校教職員対象）（＊３）	６月４日（木），11日（木）， 午後５時30分～午後７時 ７月22日(水)，12月25日(金) 午前９時～12時		応募	館内見学／体験活動実践講習 講義（市内指定文化財） 現地学習など	無料
展示解説講座	開催期間中頃の日曜日 午後２時～		各70名	展示品を解説し，会場を案内する テーマ展・特別展ごとに各１回開催	無料

（＊１）今年度は中止
（＊２）ふれあい歴史体験講座に振り替え
（＊３）６月４日，11日，７月22日は中止

⑹　利用状況

①　利用者数

年　度	入館者		講座室等利用者		合　計
	大　人	小中高生	大　人	小中高生	
平27	10,148	11,197	9,832	14,682	45,859
平28	12,273	9,327	10,595	13,754	45,949
平29	11,345	11,518	9,580	13,979	46,422
平30	9,626	10,548	9,727	13,445	43,346
令元	9,798	9,268	10,837	14,530	44,433

②　利用状況（令和元年度）

区　分	観　覧　者		講座室利用者		移動講座	合　計
	個　人	団　体	一　般	講座･体験		
大　人	6,184	3,614	4,123	5,264	1,450	20,646
中高生	143	116	2,901	9,266	2,363	23,787
小学生	901	8,108				
合　計	7228	11,838	7,024	14,530	3,813	44,433

③　各種講座参加者数（令和元年度）

講　座　名		延回数	参加者数
ふるさとの歴史再発見	考古のコース	5回	216人
	歴史のコース	5回	246人
	民俗･文化史のコース	4回	151人
	古文書のコース	3回	175人
ふれあい歴史体験講座		16回	1,057人
昔のおもちゃで遊ぼう		1回	290人
勾玉作り教室		2回	384人
ジュニア歴史探検		1回	20人
展示解説講座		4回	216人
合　　計		48回	2,755人

④ 企画展入館者数（令和元年度）

名　　称	期　　間	入館者数
第38回特別展 「大分の禅」	９月27日（金）～11月４日（月） （開館日数　35日間）	4,772人
記念講演 「中世大分の禅宗とその造形」	10月13日（日）	72人
テーマ展示Ⅰ「解体新書の世界」	４月27日（土）～６月９日（日） （開館日数　39日間）	2,434人
テーマ展示Ⅱ「豊後の南蛮文化」	７月13日（土）～８月25日（日） （開館日数　38日間）	1,882人
テーマ展示Ⅲ「江戸・明治の木版画」	１月25日（土）～３月20日（金） （開館日数　47日間）	3,046人
まちかど歴史展示館	11月10日（土） 大分銀行ドームに設置	2,565人

⑺ 調査研究（令和元年度）

① 令和元年度（第38回）特別展調査
　令和元年度の特別展「大分の禅」の予備調査を京都市野村美術館，天理大学附属天理参考館などで行った。

② 令和２年度（第39回）特別展調査
　令和２年度の特別展「大分の人形浄瑠璃」の予備調査を徳島城博物館，徳島県立阿波十郎兵衛屋敷，淡路人形浄瑠璃資料館などで行った。

③ 市内，県内の考古・歴史・民俗資料調査
　資料館に寄せられる情報をもとに，資料の収集と記録保存を目的とした調査を随時行った。

⑻ 資料収集（令和元年度）

展示・保存・研究のため，寄贈・寄託・購入等の方法で，資料の収集につとめている。令和元年度の主な収集資料は以下のとおりである。

① 購入資料
・大友宗麟書状　１点
・諸国奇観　１点

② 寄贈資料
・軍隊手帳や軍服など戦争関係資料　７件
・鍛冶師道具など民俗資料　７件
・古文書など歴史資料　２件

⑼ 刊行物（令和元年度）

① 資料館ニュース　NO.121～123
② 令和元年度（第38回）特別展図録･ポスター･チラシ
③ 令和２年度　大分市歴史資料館総合案内

⑽ 利用案内

開館時間　午前９時～午後５時
　（入館は午後４:30まで）

休館日　毎週月曜日（祝日の場合は開館）
　ただし，毎月第１月曜日は開館し，翌火曜日が休館(祝日の場合は開館)
　祝日の翌日（土・日曜の場合は開館）
　年末年始（12月28日～１月４日）

観覧料　大　　人　210円（団体150円）
　高　校　生　100円（団体50円）
　中学生以下　無料
※団体は20名以上
※特別展開催中は別料金になることがある

講座室　第１講座室　　１時間　160円
　第２講座室　　１時間　100円
※一室として利用することも可
※冷暖房を使用する場合は4割増しとする

交通機関
　ＪＲ久大本線　豊後国分駅下車
　徒歩２分